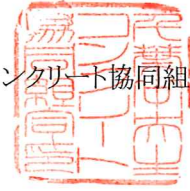


2021年6月吉日

需要家 各位

千葉中央生コンクリート協同組合



### 暑中期における生コンクリートの出荷について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年の地球温暖化の影響により、千葉県内においても、最高気温が35℃以上の猛暑日が多くなってきており、運搬時の直射日光や、セメントの水和反応による発熱の影響により、荷卸時のコンクリート温度が35℃を超える事態が憂慮されております。

この厳しい状況を鑑み、弊協同組合加盟工場では荷卸時のコンクリート温度を「35℃以下から 38℃以下」に改正し JIS 認証機関の承認を受けて、出荷できる体制を整えています。

しかしながら、現場受入基準が「35℃以下」と指定されている場合、荷卸時のコンクリート温度が35℃を超え 38℃以下の JIS 適合品であっても現場受入を拒否されることになり、納入現場に対し多大なご迷惑をおかけすることが予想されます。

つきましては、暑中期における生コンクリートの出荷対応につきましては、以下(1)～(3)に示す事項を条件とし対応させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

- (1) 荷卸時のコンクリート温度 35℃以下を指定され、出荷予定日のコンクリート温度が 35℃を超えると予想される場合には、基本的には出荷をご辞退させていただきます。
- (2) 上記(1)の条件ながら、どうしても納入を希望される場合には、コンクリート温度のみの不適合による持ち帰りについては、契約取消生コン(商品代相当額+取消料)として取扱いさせていただきます。
- (3) コンクリート温度低減のための追加対策を希望された場合には、可能な範囲で協議させていただきます。

注) 国土交通省大臣認定品のコンクリート温度規定値につきましては、認定取得時の規定に従わざるを得ず、弊協同組合加盟工場では、コンクリート温度が 35℃を超えると予想される場合の出荷対応には応じられませんのでお含み置きください。

需要家の皆様には、近年の気象環境の変化をご賢察頂き、ご理解とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

敬具